

議事（2）共生ビジョンの変更について

1 趣旨

平成28年9月23日付けで定住自立圏構想推進要綱（平成20年12月26日総行応第39号。以下「要綱」という。）を改正するとともに、同日付で技術的助言を發出し、各圏域において、定住自立圏形成協定等に基づき推進する具体的取組について、定住自立圏共生ビジョンにおいて成果指標（KPI）等を設定するとともに、その達成状況等を踏まえた施策や事業のPDCAサイクルを構築することを要請しました。

以下にお示しするのは、各圏域の取組を参考にしながら作成した成果指標等の例になります。これらはあくまで例示であり、実際の指標設定に当たっては各圏域において、その地域特性を踏まえ、指標を検討・設定いただくことが重要です。

2 圏域の将来像について

要綱第6(3)②により、定住自立圏の将来像には、将来推計人口を踏まえつつ算出した、定住自立圏の取組の結果実現されるべき中長期的な将来の人口や高齢化率等の目標を含むこととしています。人口については、人口数自体の目標を設定するほか、社会人口増減や自然人口増減の目標をあわせて設定することも考えられます。高齢化率については、高齢者人口数により把握することも考えられます。あわせて、若年者比率や若年層の人口数を記載することも考えられます。

※圏域人口の目標については、「日本の将来推計人口」（国立社会保障・人口問題研究所）を参考にするとともに、各市町村で定めている「地方人口ビジョン」の人口目標との整合も図りながら設定することが考えられます。

○圏域人口

平成22年	平成27年	平成37年	平成52年（目標）
●●人	●●人	●●人	●●人

○高齢化率

平成22年	平成27年	平成37年	平成52年（目標）
●●%	●●%	●●%	●●%

このほか、上記の目標以外にも、昼夜間人口比率等の圏域の自立性に関する目標の設定や、住民アンケートの実施結果等により示される圏域の姿を、将来像として定めることも考えられます。

(例)

○圏域全体の昼夜間人口比率

●● (平成〇〇年) → ●● (平成〇〇年)

○中心市と各構成市町村間の通勤通学割合

A市・B市間 ●●% (平成〇〇年) → ●●% (平成〇〇年)

A市・C町間 ●●% (平成〇〇年) → ●●% (平成〇〇年)

○圏域に住みたいと思う住民の割合 (圏域住民へのアンケートで把握)

●●% (平成〇〇年) → ●●% (平成〇〇年)

3 成果指標及び基本目標について

前述のとおり、今般の要綱改正により、各圏域において、定住自立圏共生ビジョンに、定住自立圏形成協定等に基づき推進する具体的取組について、成果指標を設定することとしています。この成果指標については、各圏域において、個々の事業単位又は複数の事業を包含した施策単位のいずれか検証を行いやすい単位で定めるようお願いいたします。また、可能な限り、「医療・福祉」「産業振興」「地域公共交通」等の政策分野ごとに、取組の全体的な方向性を示すための基本目標を設定するようお願いいたします。

基本目標や成果指標については、定量的な成果を把握するため、数値目標を設定することが望ましいところですが、数値目標の設定が難しい場合には、進捗管理が可能な形で定性的目標を定めることや、アンケート調査により圏域住民の満足度を計ること等が考えられます。アンケート調査については、圏域として新規に実施するほか、構成市町村で既に実施している調査に共通項目を設けるなどにより実施することも考えられます。

以下では、政策分野のうち、特に取り組んでいる圏域が多い「医療・福祉」「産業振興」「地域公共交通」の3分野において、具体的な基本目標及び成果指標の事例を示すものです。取組の進捗管理を行うためには、成果指標について、【現状の実績値】と【〇年後の目標値】を合わせて記載し、明らかにすることが有効ですが、新たに指標を設定する等のため、現状の実績値の把握が困難な場合も考えられます。その場合、平成28年度はまずは指標の設定のみとし、速やかに実績値の把握を行い、平成29年度に行う定住自立圏共生ビジョンの改訂に合わせて実績値を記載する対応も考えられます。

①基本目標として考えられる例【医療分野】

- ・ 圏域住民の平均寿命 ●●歳（平成〇〇年）→●●歳（平成〇〇年）
- ・ 出生数 ●●人（平成〇〇年）→ ●●人（平成〇〇年）
- ・ 合計特殊出生率 1.●●（平成〇〇年）→ 1.●●（平成〇〇年）
- ・ 0～9歳人口 ●●人（平成〇〇年）→ ●●人（平成〇〇年）
- ・ 子育て環境に「満足している」と回答する住民の割合（圏域住民のアンケートで把握）
- ・ 55～64歳世代の社会人口動態 ●●人（平成〇〇年）→ ●●人（平成〇〇年）

② 事業単位の成果指標として考えられる例

事業名	子育て支援センター事業		関係市村名
重要業績評価 指標（KPI）	指標	現状値（調査時点）	目標値（達成年度）
	利用者数	●●人	●●人

③ 施策単位の成果指標として考えられる例【児童福祉の推進】

- ・ 保育所入所率 ●●%（平成〇〇年）→ ●●%（平成〇〇年）
- ・ 保育所数 ●●箇所（平成〇〇年）→ ●●箇所（平成〇〇年）